

巣で親鳥の帰りを待つカワウのヒナ



2022年の繁殖状況まとめ!

ベビーラッシュの水鳥たち

かいぼり後も自然再生(ネイチャーポジティブ)を進めてきた井の頭池では、繁殖する水鳥の種類や羽数が取組開始前よりも増加している。2022年の水鳥モニタリング結果も合わせて、主な水鳥の繁殖状況を紹介する。

繁殖を始めたカワウ

井の頭池では2022年の春から夏に3つがい、秋から冬に7つがいのカワウが繁殖した。誕生したヒナは11羽だった(2023年1月末現在)。井の頭池のカワウは2020年に初めて繁殖し、つがいやヒナの数は年を追って増加している(図)。魚などの水生生物を食物とするカワウは、井の頭池では数が豊富で大きさが手頃なギンブナを主な食物にしているようだ。1回目のかいぼり(2014年)では、池で確認されたギンブナは124匹だった。産卵してもオオクチバスなどの外来魚に幼魚を捕食されてしまったため、かいぼりの時点で生存していたのは大型化した成魚ばかりだった。かいぼりでオオクチバスとブルーギルを根絶してからは、ギンブナなどの在来魚は生息数を大幅に回復させている。こうした在

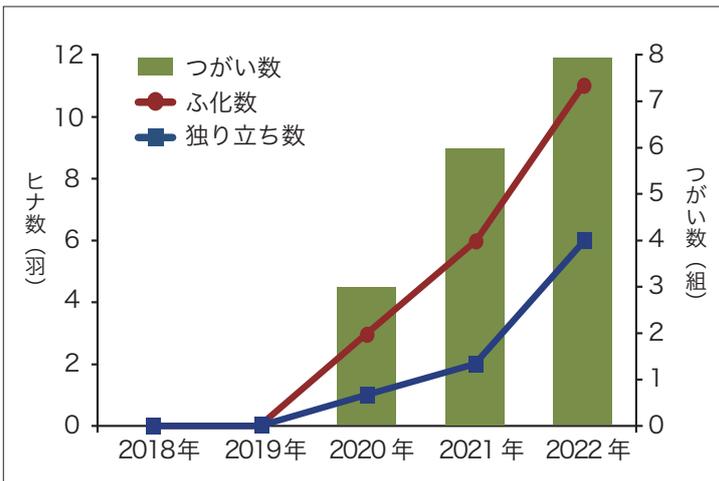


図. カワウの繁殖数の推移 (2023年1月末現在)



かいぼり後に回復したギンブナ (2018年)



カワウの巣 (2022年5月)



来魚に支えられて、このような都市部にある池でアオサギ(2019年に初繁殖)やカワウなどの大型水鳥が繁殖するようになった。カワウは七井橋と狛江橋の間に巣を作っており、営巣中には連日、巣を見上げてヒナの様子を観察する来園者の姿が見られた。(裏面へ続く)

営巣位置が園路の直上の枝だったので、糞などの落下物を心配する声が聞かれることもあった。巣の下を安心して通行できるように、公園では糞よけの屋根を設置した。その辺りには、糞とともにカワウが吐き戻したザリガニやギンブナが見られることがあるので探してみるのも面白い。ご不便をかけることもあるかもしれないが、温かく見守ってほしい。

### カイツブリが最多数を更新

もうひとつ、外来魚駆除の恩恵を受けた水鳥がカイツブリだ。2022年は、これまでで最多の9つがいの産卵を確認。67羽のヒナが誕生し、独り立ち数(孵化後1ヶ月の生存数)は54羽だった。

本種が子育てをするためには、十分な数のエビ類やヤゴなどの小型の水生生物を得る必要がある。現在の井の頭池には、これらが豊富に生息していることがうかがえる。

### バンの繁殖、あと一歩

2022年の春、バン2つがいが井の頭池に滞在し、うち1つがいが繁殖した。前年には造巢したところで放棄したとみられるが、今期は抱卵を確認。しかし、アオダイショウにねらわれるなどして巣の位置を4回変え、最終的には巣を放棄した。

井の頭池のバンは、近年は渡りの時期に短期滞在するのみだったが、2019年からは複数羽が越冬するようになっていった。浅場整備の取組によって、生息に適した湿地環境が拡がってきている。ヒナの姿が見られる日はそう遠くないかもしれない。



葦島で営巣したバンの巣



仲睦まじいバンのカップル



カイツブリの親子



カワウのフンよけ対策

## いけいけ！かいぼり隊

～湿地整備に汗を流す！の巻～

かいぼりの時に池底の泥を集めて整備した浅場には、さまざまな湿生植物が生育している。こうした湿地環境を保全するのも、かいぼり隊の活動のひとつだ。12月には葦島の浅場で作業を行った。枯れたヨシなどを刈り取って島から運び出す。泥に足を取られて動きにくい、枯れ草が堆積して陸化するのを防ぐために、この作業は欠かせない。

微地形の整備も行った。水面より高い泥地を削り取り、水深が深い箇所へ泥を移していく。水没や干出す箇所が固定化しないよう、泥を動かして一年草の生育スペースをつくる大事な作業だ。

葦島などの浅場では、こうした作業によってカンエングヤツリなどの希少な湿生植物が毎年生育するようになった。それにより水鳥やトンボの生息環境が保たれ、観察スポットにもなっている。冬にはコガモやバンが訪れるので探してみしてほしい。



枯草を刈ったり、微地形を整備するかいぼり隊

## Topics

### 展示コーナー誕生！活動拠点が一時移転



風雨をしのげるように棚を加工するかいぼり隊員



壁面の掲示物

井の頭かいぼり隊の活動拠点が、これまで利用していた西部公園緑地事務所の庁舎建て替えにともない、一時移転しました。

新拠点は、井の頭公園と井の頭自然文化園(動物園)をつなぐ歩道橋のもとにあります。仮設の壁面を利用した展示コーナーも作りました。イノカシラフラスコモの解説、かいぼり新聞のバックナンバーなどの掲示物を用意しています。適宜更新していきますのでどうぞお立ち寄りください。